

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月24日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8014 URL <http://www.chori.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀨 一夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営政策部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	145,089	12.9	3,434	△3.8	3,544	△3.0	2,335	△8.7
29年3月期第2四半期	128,535	△4.5	3,569	41.3	3,654	34.3	2,556	39.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,271百万円(359.9%) 29年3月期第2四半期 711百万円(△65.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	95.18	—
29年3月期第2四半期	104.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	106,165	49,156	46.2
29年3月期	97,983	46,343	47.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 49,081百万円 29年3月期 46,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
30年3月期	—	23.00			
30年3月期(予想)			—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	280,000	3.4	6,800	5.5	7,200	3.3	4,500	△5.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	25,303,478株	29年3月期	25,303,478株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	745,533株	29年3月期	788,175株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	24,533,559株	29年3月期2Q	24,515,941株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に緩やかな回復基調が続き、海外でも、米国経済が堅調に推移したことや中国及び新興国経済が持ち直したことにより世界経済は緩やかな回復が持続しました。一方、国内の個人消費については、全般的には回復が見られましたが、衣料品等の一部消費財市場では力強さを欠いており、また、欧州・米国の金融政策が世界経済に与える影響に加え、北朝鮮情勢の動向に伴うわが国の地政学リスクは高いレベルで継続しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、平成29年4月25日に中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」を発表し、その諸施策を推進しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比12.9%増の1,450億89百万円となりましたが、国内衣料市況の低迷を受け、営業利益は、前年同期比3.8%減の34億34百万円、経常利益は、前年同期比3.0%減の35億44百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比8.7%減の23億35百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

当セグメントにおきましては、国内衣料市況の低迷に加えて、一過性のM&A関連費用の発生等もあり、売上高は、前年同期比1.2%減の522億38百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比12.6%減の15億72百万円となりました。

② 化学品事業

当セグメントにおきましては、有機化学品及び無機ファイン分野が好調に推移し、売上高は、前年同期比13.5%増の666億38百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比29.6%増の15億46百万円となりました。

③ 機械事業

当セグメントにおきましては、車輻事業の中南米向け出荷が好調に推移し、加えて、新規市場の開拓も進み、売上高は、前年同期比55.1%増の261億65百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比527.8%増の1億30百万円となりました。

なお、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)に記載の通り、従前、セグメント利益については、税金等調整前四半期純利益を基礎に記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間より経常利益を基礎として記載する方法に変更しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,061億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億81百万円増加しました。これは主に商品及び製品が26億31百万円増加、受取手形及び売掛金が23億22百万円増加、投資その他の資産が14億97百万円増加、現金及び預金が13億45百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、570億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億68百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が42億43百万円増加、長期借入金が4億77百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、491億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億13百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により23億35百万円増加、その他有価証券評価差額金が10億22百万円増加、配当金の支払により5億39百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末比16億43百万円増の111億37百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は24億8百万円(前年同期は資金の減少7億84百万円)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益35億47百万円、仕入債務の増加額38億80百万円、支出の主な内訳は、売上債権の増加額21億44百万円、たな卸資産の増加額19億66百万円、法人税等の支払額10億94百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は3億36百万円(前年同期は資金の増加4億67百万円)となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入4億4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は10億85百万円(前年同期は資金の減少11億47百万円)となりました。これは主に配当金の支払額5億38百万円、短期借入金の純減少額5億31百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績については、概ね期初予想通りに推移しており、平成29年4月25日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,811	11,156
関係会社預け金	500	1,000
受取手形及び売掛金	54,020	56,342
商品及び製品	11,495	14,127
仕掛品	22	33
原材料及び貯蔵品	4	2
未着商品	1,183	523
繰延税金資産	206	217
その他	3,644	4,283
貸倒引当金	△67	△65
流動資産合計	80,822	87,622
固定資産		
有形固定資産	2,358	2,653
無形固定資産		
のれん	2,797	2,403
その他	232	214
無形固定資産合計	3,029	2,618
投資その他の資産	11,773	13,271
固定資産合計	17,161	18,542
資産合計	97,983	106,165
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,990	44,233
短期借入金	3,487	3,490
未払法人税等	1,012	1,167
賞与引当金	750	730
返品調整引当金	2	—
関係会社整理損失引当金	85	76
その他	3,585	3,840
流動負債合計	48,913	53,539
固定負債		
社債	—	5
長期借入金	—	477
繰延税金負債	670	922
退職給付に係る負債	2,014	2,025
その他	41	38
固定負債合計	2,726	3,469
負債合計	51,640	57,008

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,700	1,747
利益剰余金	37,622	39,411
自己株式	△786	△744
株主資本合計	45,335	47,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	679	1,701
繰延ヘッジ損益	222	284
為替換算調整勘定	74	△78
退職給付に係る調整累計額	△43	△40
その他の包括利益累計額合計	933	1,866
非支配株主持分	73	75
純資産合計	46,343	49,156
負債純資産合計	97,983	106,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	128,535	145,089
売上原価	115,995	132,249
売上総利益	12,539	12,839
販売費及び一般管理費	8,969	9,404
営業利益	3,569	3,434
営業外収益		
受取利息	10	16
受取配当金	127	129
持分法による投資利益	26	118
債務勘定整理益	38	45
雑収入	120	134
営業外収益合計	323	444
営業外費用		
支払利息	27	31
手形売却損	44	58
為替差損	99	180
雑支出	66	64
営業外費用合計	238	334
経常利益	3,654	3,544
特別利益		
固定資産売却益	224	12
投資有価証券売却益	—	4
その他	—	1
特別利益合計	224	19
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	9	7
投資有価証券評価損	—	5
固定資産処分損	19	2
関係会社株式売却損	—	0
投資有価証券売却損	9	—
特別損失合計	38	16
税金等調整前四半期純利益	3,839	3,547
法人税、住民税及び事業税	1,290	1,274
法人税等調整額	△7	△65
法人税等合計	1,283	1,209
四半期純利益	2,556	2,337
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,556	2,335

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,556	2,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	1,022
繰延ヘッジ損益	△5	62
為替換算調整勘定	△1,441	△127
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△306	△25
その他の包括利益合計	△1,844	933
四半期包括利益	711	3,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	714	3,268
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,839	3,547
減価償却費	154	152
のれん償却額	509	509
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△42	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41	△12
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△56	△9
受取利息及び受取配当金	△138	△145
支払利息	27	31
為替差損益(△は益)	△2	△13
持分法による投資損益(△は益)	△26	△118
固定資産売却損益(△は益)	△205	△10
ゴルフ会員権評価損	9	7
投資有価証券売却損益(△は益)	9	△4
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5
関係会社株式売却損益(△は益)	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,399	△2,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	△395	△1,966
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,879	3,880
未払消費税等の増減額(△は減少)	80	△129
その他の資産の増減額(△は増加)	△71	△470
その他の負債の増減額(△は減少)	△119	343
その他	△37	△83
小計	1,014	3,373
利息及び配当金の受取額	189	159
利息の支払額	△27	△28
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,960	△1,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	△784	2,408
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74	△85
有形固定資産の売却による収入	497	59
無形固定資産の取得による支出	△64	△21
投資有価証券の取得による支出	△25	△26
投資有価証券の売却による収入	29	6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	404
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	23
出資金の売却による収入	1	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△26
貸付けによる支出	△5	△1
貸付金の回収による収入	10	13
その他	98	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	467	336

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	654	△531
長期借入金の返済による支出	△907	—
社債の償還による支出	△5	△5
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△880	△538
その他	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,147	△1,085
現金及び現金同等物に係る換算差額	△737	△71
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,202	1,588
現金及び現金同等物の期首残高	10,496	9,493
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	54
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,294	11,137

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	52,893	58,732	16,866	128,492	42	128,535	—	128,535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	209	209	△209	—
計	52,893	58,732	16,866	128,492	251	128,744	△209	128,535
セグメント利益	1,798	1,193	20	3,012	19	3,032	621	3,654

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額621百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	52,238	66,638	26,165	145,042	47	145,089	—	145,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	211	211	△211	—
計	52,238	66,638	26,165	145,042	259	145,301	△211	145,089
セグメント利益	1,572	1,546	130	3,249	18	3,268	276	3,544

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額276百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、「機械事業」に含まれる輸送機器事業を分社化したことを契機に組織変更を行い、従前「機械事業」に含まれていた環境商材関連事業を「化学品事業」へ移管しております。

(報告セグメントごとの利益又は損失に関する事項)

平成29年4月25日に公表した中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」で掲げる経営指標を連結経常利益及びROA（経常利益ベース）に定めました。これに伴い、従前セグメント利益については、税金等調整前四半期純利益を基礎に記載し、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益との調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より経常利益を基礎に記載し、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行うことに変更しております。

(セグメント利益の測定方法の変更)

従前、全社損益を各報告セグメントへ配分していましたが、第1四半期連結会計期間より各セグメントの業績を適時、的確に把握、管理することを目的に、全社損益は配分せず、報告セグメントに帰属しない全社損益として「調整額」とすることに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間に係る「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の方法により記載しております。